

□ 環境関連の取り組み項目と目標(2014～2016年度)

取り組み項目		目標			
		管理指標	2014年	2015年	2016年
スマートコミュニティの推進 最適マネジメント技術やICT技術の開発・導入等によりスマートコミュニティの実現を目指す。	要素技術開発・活用、社内外連携等	—	スマートコミュニティの推進		スマートコミュニティのプロジェクト展開
	技術開発	—	ZEBの要素技術開発		ZEBの技術的確立
ネット・ゼロエネルギービルの推進 省エネルギー設計、再生可能エネルギー利用の取り組みや要素技術の開発によってネット・ゼロエネルギービル(ZEB)の実現を目指す。	環境配慮設計の推進	CASBEE評価Sランクプロジェクト等の件数 (*1)	件数の拡大		
	省エネルギー設計等による建物運用時エネルギー消費量の削減	運用時エネルギー消費量の削減率 (ベストプラクティス:2000年一般建物比) (標準建物:2000年一般建物比)	△60%以上 △19%以上		
	技術開発等による木造建築の推進	—	2時間耐火部材の整備		中層耐火木造建築の技術的確立
環境負荷の低減 地域・地球環境への負荷低減に積極的に取り組み、持続可能な事業の基盤を強化する。	建設副産物の発生抑制および再資源化促進	最終処分率(重量比)	4.0 %以下	3.5 %以下	3.0 %以下
	施工時に排出されるCO2排出量の削減	CO2排出量原単位(施工高あたり)	10.3 t-CO2/億円以下	10.1 t-CO2/億円以下	9.9 t-CO2/億円以下
	グリーン調達	重点グリーン調達品目(当社基準) 9品目採用プロジェクト件数比 (*2) (設計段階・施工段階)	85 %以上	85 %以上	85 %以上
	自社オフィスにおける、紙購入量の削減、古紙リサイクルの推進	紙購入量、古紙リサイクル率	前年と比べ、維持・改善		
	節電対策や運用改善などによるエネルギー使用量の削減	オフィスにおけるエネルギー使用量	前年より改善		

*1 CASBEE: 建築環境総合性能評価システム。評価指標によるランクは、「S(素晴らしい)」、「A(たいへん良い)」、「B+(良い)」、「B-(やや劣る)」、「C(劣る)」の5段階。

*2 対象は、当社設計施工の、2,000 m2以上の新築・増改築工事および10億円以上の改修工事。